

## 令和二年度日本水産学会近畿支部例会の開催について

近畿支部長 澤山 茂樹

### 記

令和二年度日本水産学会近畿支部後期例会を下記のとおり開催いたします。新型コロナウイルス感染防止の観点から、オンライン研究発表（ズーム、口頭のみ）を募集します。高校生の発表も受け付けますので、多数のご参加をお待ち申し上げます。

### 令和二年度日本水産学会近畿支部例会

日程：令和二年 11 月 29 日（日）午後 12 時 55 分～

12:55-13:00 開会の挨拶

13:00～17:30 口頭発表（終了時刻は発表件数によって変更の可能性があります。）

場所：オンライン(ズーム)

参加費：無料

例会委員長： 澤山 茂樹

例会実行委員： 三田村啓理・神川龍馬・森本大地

例会HP： [http://www.kanbi.marine.kais.kyoto-u.ac.jp/JSPS\\_kinki.html](http://www.kanbi.marine.kais.kyoto-u.ac.jp/JSPS_kinki.html)

### 【参加申込方法】

- 参加・発表の申し込みおよび講演要旨の提出の締め切りは以下の通りです。
- 2020 年 10 月 31 日（土）（必着）
- 参加者は、電子メールに下記の事項をご記入の上、10 月 31 日（土）までに、例会事務局（[suisan.kinki@gmail.com](mailto:suisan.kinki@gmail.com)）宛に送信してください。また、研究発表をご希望される方は必ず講演要旨も添付してください。参加・発表の申し込みをされた方に、ズームのアクセス方法をメールでお知らせします。

1. 氏名
2. フリガナ
3. 所属
4. 連絡先住所（郵便番号）
5. 連絡先電話
6. 連絡先電子メールアドレス
7. 会員の別 [普通会員、学生会員、賛助会員、団体会員、一般非会員、学生非会員]
8. 会員番号（会員の方のみ）
9. 参加申込者自身による演題発表の有無 [有、無]

\*これ以降の項目は9で「有」とした発表者のみの記述になります。

10. 和文題目
11. 英文題目（高校生は省略可）
12. 和文氏名（所属略記）
13. 英文氏名（所属）（高校生は省略可）
14. 発表に使用する言語【日本語、英語】
15. 高校生，大学生，大学院生による発表  
[である，ではない] [高校生区分，B・M・D 区分]

※本例会では，高校生，大学生・大学院生を対象に優秀口頭発表賞を選出し表彰します。対象の高校生（高校生区分），大学生・大学院生（B・M・D 区分）による発表の場合は，上記項目の15にその旨を記してください。

※参加・発表の申し込み後、数日以内にメールで受付のご連絡をいたします。申し込みから1週間以上経っても事務局から連絡がない場合には、例会事務局までご連絡ください。

#### 【研究発表要領】

オンライン発表の都合により、申込件数が多数の場合には、発表時間の調整や発表をお断りする可能性があります。その際は申し込み順を加味しますので、あらかじめご了承ください。なお、発表時間の指定は固くお断りします。

#### 1. 口頭発表

- 使用言語は日本語または英語です。発表時間は1題につき8-12分で、討論を含めて10-15分で終了とします。発表件数が確定しましたら、発表時間等を決定して追って連絡します。
- 口頭発表の資料提示は、ズームの共有で行います。MS PowerPoint または PDF ファイルを用いてスライドを共有してください。動画は使用しないでください。

#### 3. 講演要旨（高校生は題目、氏名および所属のみでも可）

講演要旨は下記要領に従い、MS Word を使用して作成してください。

- ・文字数と行数： ページ設定から行数だけを35に指定する。
- ・余白： 上下30 mm 左右30 mm とじしろ0 mm
- ・印刷の向き： 縦
- ・用紙サイズ： A4
- ・フォント： 和文（明朝体）または英文（Times あるいは Century）
- ・行間： 1行
- ・文字サイズ： 題目 12ポイント センタリング ボールド

氏名（所属）：12 ポイント センタリング

本文：12 ポイント

・A4 版 1 ページ片面で作成してください

題目と氏名は中央に入れ、氏名の後に所属（略記で記載）、また連名の場合は・で連ね、講演者の左肩に丸印をつけてください。題目、講演者と本文との間を1行空けてください。字数は題目と氏名、本文の字数を合わせて450字以内に収めてください。この原稿作成要領が守られていない原稿は受理できない場合がありますので、ご注意ください。また、講演要旨集の体裁を統一するため、形式を変更させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

マハタの種苗生産技術開発  
山田太郎 1・○鈴木二郎 2・田中三郎 2  
(1 東西大水、2 南北水試)

新規魚類養殖対象魚として注目されているマハタの効率的種苗生産技術について、飼育海水の塩分、水温・・・・・・・・

※発表形式や講演要旨作成に関する最新の情報は適宜、例会ホームページに掲載します。

#### 【プログラム】

プログラムは、例会ホームページに11月中旬頃に掲載します。

#### 【問合せ先】

〒606-8502 京都府京都市左京区北白川追分町 農学部総合館 E-508

日本水産学会近畿支部事務局（令和二・三年度）

電話 075-753-6371 Fax 075-753-6356

電子メールアドレス：suisan.kinki@gmail.com